

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立青森工業高等学校
-----	--------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。

『ものづくりを通じてわたしが地元のできること』

企業との連携(メンターから未来の技術者へ)そして地域へ～人に寄り添い、人のための行動～

◆発表要旨 (100～200字程度) ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

電気科で得た知識や技術を、現場ではまだ生かせない高校生の立場で何が出来るかを考え、メンターからの技術継承こそが現場で生きた教材であることを体験する。地元企業3社(特別養護老人ホーム寿幸園・東北電力ネットワーク・東北電気保安協会)の御協力をいただき、老人ホーム施設内にある高圧受電設備の点検を通じて技術を習得する。また、電灯の『光』が人に与える安心を『ものづくり』を通して地域貢献を行い、人に寄り添った行動が地元あおもりへの想いに繋がる体験をする。

◆発表内容

1. はじめに

・「地域と関わる研究」として、人に寄り添い、人のための行動をテーマにして電気科として何か出来ないかを模索し、生活に必要な電気で人に「安全」と「癒やし」の2つをテーマに研究をする。

2. 研究目標

・3社の企業の方の協力をいただきながら高圧受電設備の点検を行い、高齢者施設の方々に安全と安心を届け、大規模な施設の安全性について学ぶ。また、この取り組みから電気科の生徒として今できる事を模索する。

3. 研究過程

- ・本研究は以下の日程・行程で行う
- ① 3つの企業との打ち合わせ
- ② 高齢者施設の高圧受電設備の調査
- ③ 電気保安に関する事前講習会
- ④ 現場での技術指導(本番)
- ⑤ 企業と生徒で振り返り
- ⑥ 高校生が今できることへの検討
- ⑦ 「ものづくり」を通しての地域貢献



 青森県立青森工業高校

 より、そう、ちから。
東北電力

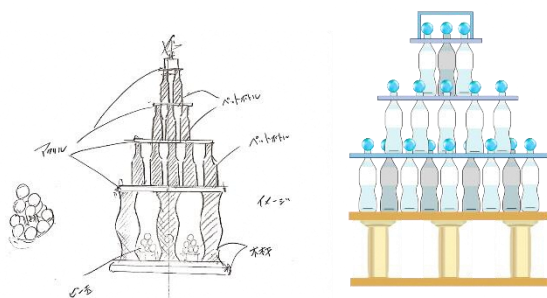
 あんぜん、きづく、あんしん
東北電気保安協会

技術の継承

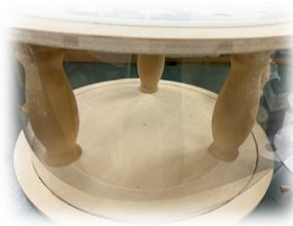
特別養護老人ホーム寿幸園



4. 研究過程 ※3. ⑥・⑦について
- ・高校生が今できることへの検討と「ものづくり」を通しての地域貢献



光り = 癒やし
ペットボトルツリーの制作



5. 完成および贈呈式

- ・施設に入居されている方々に飾るという作業が出来るよう工夫をしてツリーを完成させた。



6. まとめ（生徒）

- 電気の技術を継承してもらいながら感じた事。
- ツリーを制作しながら感じた事。

- ① 技術は繋いでいくものである。
- ② 安全第一で責任を持って行動する。
- ③ 相手の事を考えながら取り組む。
- ④ 人に寄り添いながら行動する。

4月より地元で就職する社会人として、日々精進しながら、そういう人材になりたい。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立浪岡高等学校
-----	------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

空き缶でつながる、浪高と地域と循環型社会
最高ダンボール ～ダンボールの利活用で青森市のごみを減らす～

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

浪岡高校は、全校で空き缶壁画作りを行い、空き缶のリサイクル活動を行っています。地域の風物詩として注目を集める「空き缶壁画」を通して、本校と地域とのつながりを認識しながら、循環型社会形成に向けた探究活動を行いました。

発表者は、ダンボールという資源に注目し、青森市のごみを減らす方法について調べました。ダンボールの魅力を知ってもらうことで利活用を活性化し、地域の循環型社会の形成と地域貢献について考えました。

◆発表内容

- はじめに
本校の空き缶活動の紹介、発表者のテーマの提示
- 青森市のごみ排出量とリサイクル率の現状
→青森市は、全国平均よりもごみの排出量が多く、リサイクル率が低い状態が続いている
→青森市の家庭系ごみの排出量は可燃ごみが最も多い
→可燃物のごみのなかでは、紙類がおよそ4割を占める
→ダンボールがリサイクルされずに捨てられている現状
- 仮説
→紙ごみのリサイクル率を向上させることが青森市のごみ排出量削減につながる
- ダンボールの魅力と利活用の方法
→軽くて頑丈、変形が容易⇒捨てる前にダンボールを楽しめる、使用期限があるものや被災時にも活用できる
→ほぼ100%リサイクル可能⇒リサイクルして買い物に使えるポイントをゲットできる
→有害物質が出ない、CO₂排出量が少ない⇒自然にも人にも優しい資源である
- まとめ
ダンボールを「楽しむ」「生かす」「蘇らせる」ことで青森市の紙ゴミを減らせる
- 引用・参考・謝辞

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立五所川原工科高等学校
-----	----------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

テーマ：観光入込客数を年間を通じて確保するためにできること
サブテーマ：五所川原市の魅力をカードで伝えよう

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

コロナウイルスによって青森県の観光客は急激に減少し、未だに回復していない。また、五所川原市の魅力を知る人も知るきっかけも減少してしまった。そこで、私達は五所川原市の魅力を知ることが出来れば観光客は五所川原市に来たいと思うという仮説を立てた。魅力を伝える方法を考えた結果、手軽で簡単に思い出として残すことが出来るフォトカードで魅力を伝えられるのではないかと考え、アンケート調査を用いて探究した。

◆発表内容

コロナウイルスによって青森県の観光客は急激に減少し、未だに回復していない。このことは青森県観光入込客数や令和五年度に行われた五所川原市民意識調査報告書からその様子が伺える。また、これにより五所川原市の魅力を知る人も知るきっかけも減少してしまったと考えられる。そこで、私達は「五所川原市の魅力を知ることが出来れば観光客は五所川原市に来たいと思う」という仮説を立てた。魅力を伝える方法を考えた結果、手軽で簡単に思い出として残すことが出来るフォトカードで魅力を伝えられるのではないかと考え、五所川原市の魅力を写したフォトカードを作成した。フォトカードには写真の場所・撮影日・イラストを加えた。立佞武多の館・五所川原駅でフォトカードを配付し、アンケート調査を行った結果、全員が「また来たい」と回答していたため、仮説は成立したと判断した。その後、より良いカードにするために地域の知名度向上につながる工夫やコストの削減などといった改善点を見つけ出しカードの修正・作成を試みた。



「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	五所川原 高等学校
-----	-----------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

力行タイムSD探究「メディアを通して青森の魅力は伝わるのか？」

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

青森県が抱える課題を話し合った際、私たちの班では「若者の県外流出」と「地域資源の活用ができていない」の2つに着目しました。この2つを同時に解決する方法を話し合い「現代の私たちが欠かさず利用しているメディアを活用すれば多くの若者に青森県魅力を伝えることができるのではないか」との仮説に至りました。検証については、通学で利用している路線を題材にPR動画を作成し動画サイトにアップすれば、青森県魅力の一つが若者に伝わるのではないかと考え実践してみました。

◆発表内容

① プロローグ

①-1 【課題】・若者の県外流出

→①-2 青森県の20歳から24歳の転出超過率のデータ

・男性がマイナス4.87

・女性がマイナス7.44

ともに全国ワースト

（要因）大卒者の県内就職率の低さ→県内就職率は38.7%

・地域資源の活用ができていない

→①-3 データ：夏休みアンケート

② どうすればいいのか？

②-1 解決策 → メディアを活用する。

（現代の私たちが欠かさず利用＝話題になりやすい）

②-2 まず、動画を制作するに当たって JR 各駅の取材を試みた。→断られた

②-3 次に、津軽鉄道にお願いした。→OK もらえた。

②-4 実際に津軽鉄道へ足を運び、撮影、取材

②-5 なぜ津鉄なのか。（自分たちは津鉄の何に魅力を感じたのか。）

→豊かな自然を楽しめる。季節によって様々な種類の電車があること。

③ どうやって発信しよう？

③-1 YouTube 甲子園に応募しよう！！

③-2 YouTube 甲子園の説明

④実際に行動したのか？

④-1 YouTube の他に、インスタとホームページに動画を投稿した。

⑤映像を見せる

(スライドに貼って再生可能にした。)

⑥結果

⑥-1 再生回数の比較

YouTube : 284 回

五高インスタ:2791 回

ホームページ : 167 回

(感想) 思っていたよりも、再生回数は伸びなかった。

(原因) 期間の短さ、惹かれるものが足りなかった。

⑥-2 インスタで取ったアンケートの集計

(質問) 魅力は伝わったか？

⑦まとめ

⑦-1 アンケートに答えてくれた人は、魅力が伝わったと言ってくれてたが、視聴回数から本校関係者が視聴してくれたことがわかる。

→外部の人が再生してくれたかどうかはこのデータからは判断できない
＝うまく伝えることができなかった。

⑦-2 原因は？

◎1 万回再生されている地方 PR 系の動画と比較して何が足りなかったのか。

- ・ストーリー性
- ・ユーモア
- ・流行を取り入れる。

⑧今後の展望

- ・ターゲット

(年齢層は？県外の人向けなのか？県内の人向けなのか？鉄道好き？)をはっきりさせる。

- ・高校生らしさを最大限に引き出す。

これを元に改善して、高みを目指したい。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	弘前実業高等学校
-----	----------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

B to B にチャレンジ

(-) × (-) = 100年後の笑顔～幸せへの方程式～

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

地域の課題である、りんごの剪定枝の大量廃棄と伝統工芸品の職人後継者不足というマイナス要素を掛け合わせ “国際ビジネス” という視点から、地元の技術や伝統工芸品を世界へ発信するという目標達成に向け、伝統工芸品とアップサイクルされたハンガーの試作をもとに、ホテルへ出向き調査した。私たちの探究活動について発表します。

◆発表内容

1. テーマ設定

2. 1つ目のマイナス～りんごの剪定枝問題～

3. 2つ目のマイナス～伝統工芸の現在～

4. (-) × (-) ～幸せへの方程式の解き方～

- ・仮説設定 【宿泊施設をメインに身近な製品と組み合わせた伝統工芸品を設置することで両方の問題を解決するきっかけになるのではないか。】

- ・小林漆器への訪問、弘前こぎん研究所への訪問

- ・試作品完成



- ・弘前実業高校 課題研究 アンケート依頼





・アンケート全体の検証

弘前市旅館ホテル組合 18 社から回答をいただいた。回答から、私たちは外国人観光客を対象に考えていたが、弘前市に宿泊する外国人の数が少ないということが現時点の回答から分かった。仮説の見直しなど具体的な活動を設定することが必要だと考えた。また、ハンガーを作成するにあたり、伝統工芸品とリンゴの選定枝を活用しているハンガーだと価値が高くなり、宿泊施設側が取り入れられる値段とマッチしないことが課題だと考えた。企業からいただいたアドバイスは、これからの活動方針や活動計画を見直すきっかけとなった。

5. 市長訪問

市長へ私たちがこれまで取り組んできた活動や試作品などの説明・紹介した。



6. まとめ～今後の方針～

ハンガーへの取り組みをレポートにまとめ、2 学年に発表し、お互いに評価しあった。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立三本木高等学校
-----	-------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

SANKO探究～青森県立三本木高校・地域探究プログラム～
八甲田・焼山・十和田の菌類の謎

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

「三本木夢と生命の森」でのフィールドワークに参加した「きのこチーム」が、一人ひとりの興味関心に合わせてきのこに着目した探究を行った。実際にフィールドワークで採取したきのこを培養したり、きのこを毒や動物、環境との関わりに注目して実験をしたり、きのこを使ったオリジナルの郷土料理を創作したりとバラエティに富んだ活動に発展していった。小さな「きのこ」からそれぞれの世界が大きく広がっていく。

◆発表内容

- きのこの培養方法
きのこの培養に挑戦！
培地と段ボールの2種類の培養方法で育てたものを比較・検証
- 毒きのこ動物の関係性
きのこを虫に食べさせよう！
ゲジゲジとワラジムシを捕獲し、実験
- きのこ環境の関わりについて
分解者であるきのこは環境汚染問題に貢献できるはず！
教室に設置してあるCO2計測器を活用して、実験
- きのこを使った郷土料理を作ろう
オリジナルレシピを考え、スーパーで県産野菜やきのこを調達！
おいしい郷土料理は作れるのか

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立百石高等学校
-----	------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

百石の上にも三年探究プロジェクト ①観光地を守るためにできること ②どうすれば百高の知名度UPできるのか？！

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

①観光地におけるオーバーツーリズムがもたらす問題と、その解決策について考えている。蕪島休憩所とA-FACTORYのスタッフへのインタビューを通じ、観光客（日本人・外国人両方）のマナー違反が共通課題であることが分かった。観光客へのマナー啓発活動を進め、訪れるすべての人が気持ちよく過ごせる環境づくりを目指したい。

②百石高校の入学希望者は年々減少している。現在高校2年生として過ごしている中で、人数減少によって学校行事や部活動などでイマイチ盛り上がり欠けると感じている。そこで、百石高校を活性化させ、楽しい学校生活を送れるように様々なプロジェクトを行う。

◆発表内容

① 観光地を守るためにできること

背景・目的

なぜこのテーマに取り組んだのか？

- ・修学旅行で訪れた観光地（薬師寺、清水寺、伏見稲荷、USJ）で迷惑行為を目撃。
- ・撮影禁止場所での写真撮影やゴミのポイ捨てが目立ち、不快な思いをした経験。
- ・地元観光地の現状を知りたい、改善策を考えたいという思いからスタート。

プロジェクトの目的

- ・観光地でのルールやマナーを効果的に伝える方法を見つける。
- ・観光地を訪れる人が気持ちよく楽しめるようにするためにはどうしたらよいかを考える。

方法

アクション 現状を知るためのインタビュー調査

① 蕪島休憩所（八戸市）

1. 観光客について、困っていることは何ですか？
2. 迷惑行為への具体的な対策を教えてください。
3. スタッフとして、観光地に対してどんな思いを持っていますか？
4. どれくらいの観光客が来るか、把握されていますか？
5. お仕事のやりがいや、どんな気持ちで働いていますか？
6. ウミネコについて、観光客が知っておくべきことはありますか？
7. 蕪島の観光地としての魅力を広めるための取り組みを教えてください。
8. 日本人と海外の観光客の違いについて何か感じますか？

② A-FACTORY（青森市）

1. 海外観光客は、どの国の方が多いですか？
2. 観光客による迷惑行為にはどのようなものがありますか？
3. 海外の観光客が増えたことで、どんな影響がありましたか？
4. A-Factoryが抱える課題について、どのように考えていますか？
5. 観光客を集めるための具体的な取り組みはありますか？
6. お店に影響を与えるものはありますか？
7. お仕事のやりがいや、嬉しかったエピソードを教えてください。
8. 人気の商品や、その理由について教えてください。



結果

インタビュー調査まとめ

①蕪島休憩所

1. 困っていること
 - ・ベットの連れ込み
 - ・ウミネコへの餌やり
 - ・ポイ捨て（たばこやゴミ）
 - ・子どもが走り回る
 - ・ウミネコを驚かせたり触ろうとする観光客
2. 迷惑行為への対策
 - ・声がけや看板の設置
 - ・パンフレットでの情報発信
3. スタッフの思い
 - ・ウミネコを野鳥として大切にしたい
 - ・ポイ捨てなどの問題解決を望む
 - ・世界的に貴重な観光地を守りたい
4. 観光客の数
 - ・コロナ後、観光客が何十倍にも増加
5. 仕事のやりがい
 - ・おもてなしの心で観光客を迎える
 - ・また来てもらえるように努力
6. ウミネコについての知識
 - ・天敵が多く、人間もその一つになり得る
 - ・ウミネコを守ることで漁業にも貢献
7. 観光地のPR活動
 - ・ホームページやテレビ番組での紹介
 - ・年2回の祭り開催（4月、7月）
 - ・駅へのパンフレット配置
8. 日本人と海外観光客の違い
 - ・海外観光客は観光地滞在時間が長い
 - ・基本的に迷惑行為の内容には違いがない

②A-FACTORY

1. 主な観光客層
 - ・香港、タイ、中国、台湾
 - ・最近韓国観光客が増え、店内の7割が外国人
2. 迷惑行為
 - ・ポイ捨て
 - ・店内での飲食
3. 海外観光客の増加による影響
 - ・売り上げが大幅に増加
 - ・物価上昇で日本人の購買量は減少したが、海外観光客の購買力が助けになっている



観光客に注意を促す看板



震災復興のために地元の小学生が折り紙で作ったウミネコ・外国人観光客がこのウミネコをわしづかみにして持って行くことを防ぐため、掲示を作り、一人1コマとしていた。



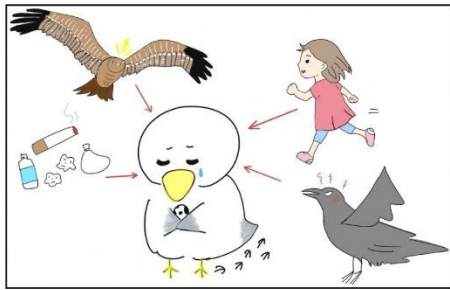
実際に、外敵に巣を荒らされた様子（本物）を展示している。ウミネコは縄張り意識が強く、縄張りに入らなひなが殺されることもある。大きくなるひなは2～3割程度。



A-FACTORYの外にも外国人観光客の姿があった。



店内の様子
この日は比較的空いていました。



まとめ

共通する課題

- ・観光客のマナー問題（ポイ捨て、ルール違反など）
- ・地元の自然や文化を守りつつ観光地としての魅力を伝える必要性

今後の課題・取り組みたいこと

- ・観光客へのマナー啓発ポスターや看板の作成
→ どうしたら効果的なポスター・看板になるのか

プロジェクトの意義

- ・観光地でのマナー向上を通じて訪れる人全員が心地よく過ごせる環境を作る
- ・地元の観光地を守ること地域経済が活性化する



ていた。平日、休日
を問わず、お土産を
買う観光客が多く訪
れる。



シールドは店内で製
造している。座詰め
など一つ一つ手作業
で行っている。

4. 課題と取り組み
 - ・ブランド力の強化
→ 告知なしでも選ばれるコンセプト作り
5. 観光客誘致のための活動
 - ・テレビ、雑誌、取材の活用
 - ・青森を代表する店舗を目指す
6. 外部・内部要因
 - 外部要因: 経済状況、コロナ、地震
 - 内部要因: 冬季の雪の影響、人の流れの変動
7. 仕事のやりがい
 - ・インスタグラムを見て来店する人がいる
 - ・努力が売りに反響される
8. 人気商品とその理由
 - ・りんごスティック: 赤いパッケージが人気
 - ・Appleスナック: 赤い見た目が魅力
 - ・リンゴジュース: ストレート果汁は濃縮還元と比べると高価だが香りが高い

② どうすれば百高の知名度UPできるのか？！

背景

百石高校の現状として、年々入学希望者の人数が減っている。

→ 体育祭、文化祭などの学校行事が人数不足もあり、盛り上がりづらい・・・ → 人が少ないと廃校の危機に瀕する！
部活動も人数が少ないと楽しめない。

目的

SNSで百石高校の良さを配信する



百石高校のBadイメージを払拭すること
で入学希望者を増やす

方法

- ① SNS (instagram) を利用している学校をリストアップし、まとめる。
- ② SNS (TikTok) を利用している学校にインタビューをする。
- ③ インタビューやSNS調査したことを踏まえてSNS発信する。

↓
百高の悪印象を払拭し、百高希望者を増やす

アクション①



アクション②

Q1 Tik Tokを始めようと思ったキッカケはなにか？

A1 鯉ヶ沢高校は入学生が20人以上来ないと廃校の危機だったから
TikTokで鯉ヶ沢高校の紹介のTikTokを始めた。

Q2 Tik Tokをやったのがわかりましたか？

A2 動画作りが大変だということ、だが慣れれば簡単。人前に立つ時
に恥ずかしいという気持ちがなくなった。

Q3 何を意識してTik Tokを撮っていますか？

A3 まず第一に自分たちが楽しむことがとても大事だということ。
プライバシーの保護に気をつけている。動画の尺を意識している。
写真より動画を投稿するという意識している。

Q4 TikTok部ではどんな事をしていますか？

A4 月一で外部の人が来て【ピンク・レディー】が来て撮った動画をせ
めて評価を貰う。日常の動画を上げたり放課後の様子や、行事の宣
伝。文化祭などのCM作り。地域のご飯屋さんの紹介。

Q5 参考になっているTik Tokerはいますか？

A5 参考になっているTikTokerは特にはいない。自分たちなりの動画を投稿し
て

Q6 最初はどうような投稿をすればいいですか？

A6 学校紹介の動画。

Q7 Tik Tokでのバズり方？

A7 TikTokでのバズりとかは意識していない。ただご飯屋さんで食べる食物
系の動画が伸びやすい傾向にある。

A8 動画を撮る時の恥の気持ちはどうしていますか？

A8 動画を撮り続けていると恥という気持ちはなくなる。TikTokは撮り続けな
いといけな。

Q9 Tik Tokをやってどんな成果を得られましたか？

A9 鯉ヶ沢高校に来る生徒たちは中学校不登校の子が多くてその人たちが
TikTokを見て鯉ヶ沢高校がいいなと思って入学してくれた。入学者が増え
て2年間廃校の首が繋がった。

展望

TikTokやinstagramで百石高校の魅力を青森県の中学生にできるだけ多く発
信していきたい。SNSでの広報活動を行い最終的には百石高校の定員割れを
なくしたい。インタビュー活動を経て、地域の活動に参加する大切さを学ん
だので、おいらせ町のボランティア活動に参加したいと考えている。

協力者

- ・鯉ヶ沢高校野外活動部・TikTok部のみなさん
- ・青森県教育委員会
- ・おいらせ町教育委員会

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立大湊高等学校
-----	------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

- | |
|---|
| ①「学校図書館の来館者数を2倍に増やそう」
②「下北の郷土料理の新しい継承の形～べこもちを知育菓子にする～」 |
|---|

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

- | |
|--|
| ①「高校図書館の利用者数を増やす」アンケートや他校の事例を参考に、図書館に行かない理由や本校の図書館にないもの等を調査し、もし予算が100万円あったら、どのような取り組みができるかを考えてみた。
②「べこもちを知育菓子にする」郷土料理の継承が難しい現代で自分たちにできることを考えた。ターゲットを幼児に絞り、べこもちをあえて未完成の状態で販売し、成型を楽しむ知育菓子として商品化する計画を紹介する。 |
|--|

◆発表内容 1

「学校図書館の来館者数を2倍に増やそう」

- ・この取組のゴール：学校図書館の利用者数を2倍にする。
- ・活動内容：本校1年次を対象にアンケートを実施し図書館に行かない理由や図書館で不便なことを明らかにした。また、全国での事例をインターネットで調査した。
- ・計画1：返却ボックスやセルフレジの導入
返却が面倒という声が多いことが明らかになったことから利便性を向上させるためにできることを考えた。
- ・計画2：スタンプカードの作成
そもそも本に興味がないという声が多かったことから景品をもらえるシステムを導入することを提案。
- ・計画3：ヨギボーの購入
実際に導入している小学校を発見した。仮にヨギボーを導入し来館者が増えたら、学校ホームページにて紹介し、全国にヨギボーの良さを広める活動につなげたい。そのため、今後ヨギボーの会社に依頼をする予定。
- ・計画4：図書室の模様替え
借りやすさ、勉強のしやすさを重視したレイアウトを提案。
- ・計画5：性格診断別のおすすめの本の紹介
- ・計画6：パズルのなどの購入
実際にパズルを置いてある高校を発見した。図書館を「本を読む場所」から「息抜きをする場所」にできる可能性がある。

◆発表内容 2

「下北の郷土料理の新しい継承の形～べこもちを知育菓子にする～」

- この取組のゴール：べこもちを知育菓子として販売する。
- 活動内容：起業家教育を経て 5W2H で販売の計画を立てる。ターゲットの幼児の発達段階を理解し、その発達に合わせた商品のサンプルをまずは紙粘土で作る。提携企業を探し、将来的に商品化につなげる。
- what:べこもちのキット
- why:郷土料理を知ってもらうことで食文化を守る。
- who:幼稚園の子どもがいる家庭、子どもがいる知り合い
- where:ネットで販売のほか、地元幼稚園・保育園で紹介
- when：子どもがいる知り合いへの誕生日の贈り物として随時
- how: 白いべこもち、木べら、着色料、作り方の紙をひとつのキットにする。
- how much:500 円にしているが価格は今後具体的に収支計画を立てて決定したい。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立八戸北高等学校
-----	-------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

あおもり創造学in八北 ～芸術で八戸を元気に！～

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

芸術の力で八戸市の活性化に取り組みたい。活性化とは、街中の通行量や店舗を増やすということではなく、市民同士が交流できる機会を積極的に創出していくことだと考えている。その中心となっていくことが期待される八戸市美術館の有効活用について考察した。

◆発表内容

研究テーマ：芸術で八戸を元気に！

発表者①

＜サブテーマ＞

八戸市美術館を中心に街の活性化を実現するには

※八戸市美術館のコンセプト…出会いと学びのアートファームとして、「もの」や「こと」を生み出す新たなかたちの美術館

＜研究背景・目的＞

- ・市美術館主催のイベント「あそらぼ」にアートファーマーとして参加し、様々な世代との交流を通して刺激を得た。また、自分らしさを感じられる居心地の良い空間を体感した。
※アートファーマーとは？→美術館活動に主体的に関わる市民のこと
- ・しかし、市内の公共施設についての市民アンケートの結果では、市美術館の満足度が最も低い。
→新しい施設のため、認知度が低いのかかもしれない。美術館のコンセプトに対する認知度も低いと思われる。
- ・多くの市民にとって美術館を心のよりどころとするにはどうしたらよいか。

＜提案＞

- ・美術館のコンセプトを知ってもらう取組を強化する。
→アートファーマーが美術館のことを発信する「美術館広報部」の活動を活発化する。
アートファーマーの視点から体験談や企画情報について積極的に発信していく。
→美術館のコンセプトに共感し、興味を持つ市民を増やし、交流を活発化させていきたい。

発表者②

＜サブテーマ＞

中心街を活性化させるためアート活動にできることは何か

＜研究背景・目的＞

- ・市中心街の空き店舗や空きビルが目立つ。逆に中心街の公共施設「マチニワ」や「はっち」で行われるイベントは、若者や遠方からの参加者で賑わっている。

→アート活動が充実すれば、街の活性化につながるのではないかな？

<美術館学芸員へのインタビュー>

- ・学生の利用は増えてほしいが、コンセプトは守りたい。
- ・中心街には、「美術館」、「マチニワ」、「はっち」といった公共施設がある。それらを循環しながらアートと触れあえるようになればよい。
- ・アートが充実していると街のクオリティが保たれ、活気あふれる街づくりにつながる。

<提 案>

- ・高校生ウィークの実施（水戸芸術館の取組を参考に）
高校生のための展覧会、高校生が見たい展示を募って展覧会を実施する。それと連動したワークショップやカフェの運営を行い、高校生に限らず、市民同士の交流を深める機会を作る。
- ・アートの効用を宣伝し、興味を持ってもらい、美術館のリピーターを増やしていく。

※アートの効用とは？

→幸福感、精神的健康、コミュニケーションの促進、不安・抑うつ・ストレスの低減に効果があると科学的に証明されている。

<最後に>

- ・次年度も、八戸市美術館を中心とした活性化について研究を続けていく。また、「はっち」や「マチニワ」などと連携し、多彩な交流を創り出すための研究をしていく予定である。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立八戸東 高等学校
-----	--------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

イワシを使ったお菓子の街おこし

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

近年八戸ではイカの漁獲量が減り、イワシが増えていることから、八戸産イワシを使ったスイーツで八戸をアピールしたいと考え、階上にある「ラ・ドゥルセリア美松」とお菓子を共同開発しました。老若男女問わず食べやすいという理由でパイにし、「しおかぜイワシパイ」と名付けました。産業フェスタで販売したイワシパイが地元の新聞に掲載されたこともあり、完売しました。今後はアンケート調査を行い年齢層、購入の動機などを調べ、売り上げを伸ばして行きたいと考えています。

◆発表内容

- 1 八戸で一番漁獲量の多い魚は何だと思うか聞く。
- 2 サバやイカが減ってきているが、イワシが一番獲れていることを説明
- 3 イワシを使ったお土産が無いことを示し、仮説「イワシを使ったみんなが食べやすいお菓子を販売すれば八戸の街おこしに繋がるのではないか」を提示する。
- 4 完成したイワシパイの写真を見せ、こだわりポイントを説明する。
- 5 産業フェスタでの写真を見せ、購入した人々のコメントを紹介する。
- 6 先生方にイワシパイを試食してもらった感想を提示する。
- 7 考察
- 8 これからの調査予定内容を示す。
- 9 イワシパイを販売している店を紹介する。

「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム 成果発表会発表要旨報告書

学校名	青森県立八戸商業高等学校
-----	--------------

◆発表テーマ

※本テーマは各校の「あおもり創造学」のテーマとし、**発表内容に応じて必ずサブテーマを付けてください。**

八商発！郷土愛 ～地域と共に～

◆発表要旨（100～200字程度） ※具体的に文章で発表内容をまとめてください。

本校は科目「課題研究」において調査研究活動を行っており、外部講師から学んだことを活用し、地域の現状と課題把握、解決方法の探究等を行っている。ハチカの利用、空き家のリノベーション、リサイクルなど各テーマ・仮説の設定、検証等についてそれぞれ到達度は異なるが、アンケートや、インタビューの実施、WEB制作等代表者3名の実践報告となっている。なお、今後の活動の方向性についても触れた発表内容となっている。

◆発表内容

1. 現状課題把握

様々な身の回りの課題を出し、その後八戸市役所の山部氏から講演していただいたことで、地域の現状を理解し、課題を明確にすることができた。

2. 解決方法提案

特に人口流出を課題とした内容となっており、地元の魅力を発見し、広める活動を主としている。日常の生活の中で暮らしやすさをアピールし、地域へ人を呼び込むための魅力発信をする内容となっている。

3. 生徒の取組

商 業 科1組「ハチカを利用した八戸の魅力再発見！」
商 業 科2組「空き家をリノベーションして地域を活性化」
情報処理科3組「リサイクルで繋ぐ人の輪」

4. 今後の活動

2月「課題研究ポスターセッション」を予定している。